＜5月号＞

学校だより

埼玉県立久喜特別支援学校【　No.2　】
ホームページ http://www.kuki-sh.spec.ed.jp/
令和元年５月７日（火）発行

大切なこと

教頭　髙野（たかの）　能弘（よしひろ）

久喜特別支援学校に着任して１月が経とうとしています。日々、子供たちの笑顔に接するたびにこの仕事に就いている責任をひしひしと感じています。私にとって、とても大切なこと（勤め）です。確かな自立を目指し、次代を生き生きと生きて行っていてほしいという願いが私にはあります。

昨年度、３８年間の教員生活を締めくくり、退職後の仕事として本校で働ける喜びを噛みしめています。私の教員生活は、高等学校の保健体育科の教員としてスタートを切りました。陸上競技部の顧問を一生懸命して高校生を社会に送り出していきました。その後、教育委員会で仕事をしたのちに高校の夜間定時制の教頭などを勤め、そして和光南特別支援学校の校長として３年間を送りました。私の教員生活を大きく変えてくれた３年間でした。最後に浦和西高等学校の校長を務め、高校生と日々を共にしました。また特別支援学校で仕事ができることをうれしく思っています。

各学部より

小学部

小学部には、１２名の新一年生が入学しました。入学式の日、保護者の方の手をぎゅっと握っていた子どもたちも、少しずつ学校生活に慣れてきました。学校生活の入り口となる小学部低学年では、いろいろな遊びを通して、大人や友だちとの関わりを深め、「楽しい」「やってみたい」と主体的に関わる力を育んでいます。また、着替え、排泄、準備や片付け等、日常生活学習の中で、身の回りのことを「自分事」としてとらえて、向かう姿勢につなげています。

先日、小学部１年生～３年生が集まって「よろしくね集会」が行われました。３年生が司会、音響をリードする中、「よろしくね」を合言葉に、バルーン、台車遊び、ダンスを楽しみました。「学校って楽しい」を土台にして、子どもたちが伸び伸びと成長していく姿がとても楽しみです。

中学部

今年の中学部は　新入生１３名を迎え、総勢４５名でスタートしました。また教員は他学部の異動を含めて９名が転入して、新たな顔ぶれとなりました。４月１６日には学部集会で新入生歓迎会が行われました。歌や自己紹介、ゲームなどを行って新入生と在校生が交流を深め、中学部全体が盛り上がる楽しい時間を過ごしました。また、２・３年生の先輩は、１年生の後輩のために歓迎の歌を歌い、１年生に優しく教えていた姿は立派でした。

中学部に入学した１年生には、早く新しい生活に慣れ、２・３年生の先輩を見習ってさまざまな経験をしてほしいと思います。保護者の皆様には、一人ひとりの成長に温かいご支援とご協力いただけますようよろしくお願いいたします。

◇地域連携部より◇

本校では地域の方々にボランティアとしてご協力いただいています。散歩や授業でのボランティアに加えて、運動会やいちょう祭り等の行事の際も練習時から支援してくださり、子どもたちの学校生活になくてはならない存在になっています。また、例年学生ボランティアの申し込みもいただいており、小学部を中心にお世話になっています。

４月９日（火）には今年度第１回目の「ボランティア連絡会」が行われました。今年も多くの場面でボランティアの皆さんが本校の教育活動をサポートしてくださることになりました。本校の子どもたちは地域の方にも温かく見守られています。